

令和5年12月31日

統計トピックスNo. 139

^{たつ}
「辰年生まれ」と「新成人」の人口

— 令和6年 新年にちなんで —

(「人口推計」から)

^{たつ}
辰年生まれは1005万人

新成人は106万人

(平成17年生まれ・18歳)

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、令和6年1月1日現在における
^{たつ}「辰年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

要 約

I ^{たつ}辰年生まれの人口は1005万人

- 男性は488万人、女性は517万人
- 最も若い平成24年生まれは昭和15年生まれより8万人少ない
- 十二支の中では9番目に多い

II 新成人人口は106万人

- 新成人人口（平成17年生まれ・18歳）は106万人で6万人減
男性は55万人、女性は52万人
- 新成人人口は過去最低を更新

I ^{たつ}辰年生まれの人口は1005万人

男性は488万人、女性は517万人

令和6年1月1日現在における^{たつ}辰年生まれの人口は1005万人で、総人口1億2413万人（男性6037万人、女性6376万人）に占める割合は8.1%となっています。

男女別にみると、男性は488万人、女性は517万人で、女性が男性より29万人多くなっています。（表1、表2）

最も若い平成24年生まれは昭和15年生まれより8万人少ない

^{たつ}辰年生まれの人口を出生年別にみると、昭和51年生まれ（令和6年に48歳になる人）が180万人と最も多く、次いで昭和27年生まれ（同72歳になる人）及び昭和39年生まれ（同60歳になる人）が共に163万人、昭和63年生まれ（同36歳になる人）が135万人などとなっています。最も若い平成24年生まれ（同12歳になる人）は104万人で、昭和15年生まれ（同84歳になる人）の112万人より8万人少なくなっています。

（図2、表2）

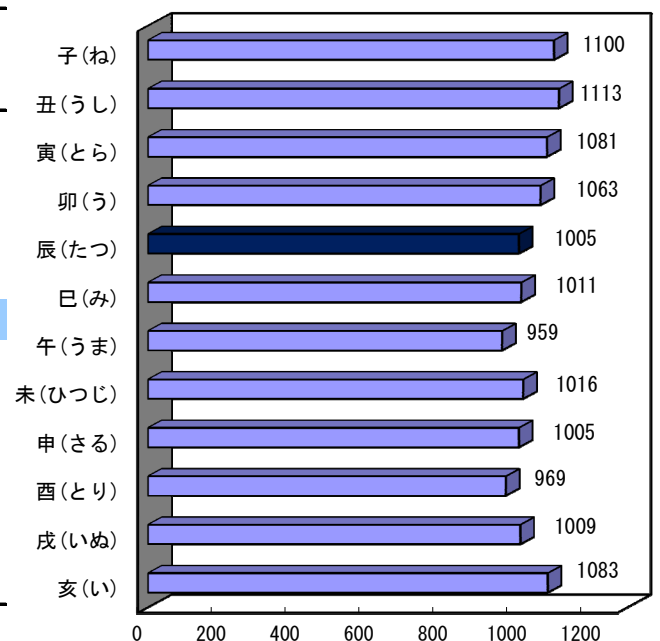
十二支の中では9番目に多い

総人口を十二支別にみると、^{うし}丑年生まれが1113万人で最も多く、^ね子年（1100万人）、^い亥年（1083万人）と続いており、^{たつ}辰年生まれは9番目となっています。（表1、図1）

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)	人口 順位
総数	12413	100.0	—
子(ね)	1100	8.9	2
丑(うし)	1113	9.0	1
寅(とら)	1081	8.7	4
卯(う)	1063	8.6	5
辰(たつ)	1005	8.1	9
巳(み)	1011	8.1	7
午(うま)	959	7.7	12
未(ひつじ)	1016	8.2	6
申(さる)	1005	8.1	9
酉(とり)	969	7.8	11
戌(いぬ)	1009	8.1	8
亥(い)	1083	8.7	3

図1 十二支別人口



(万人)

図2 男女、出生年別^{たつ}辰年生まれの人口

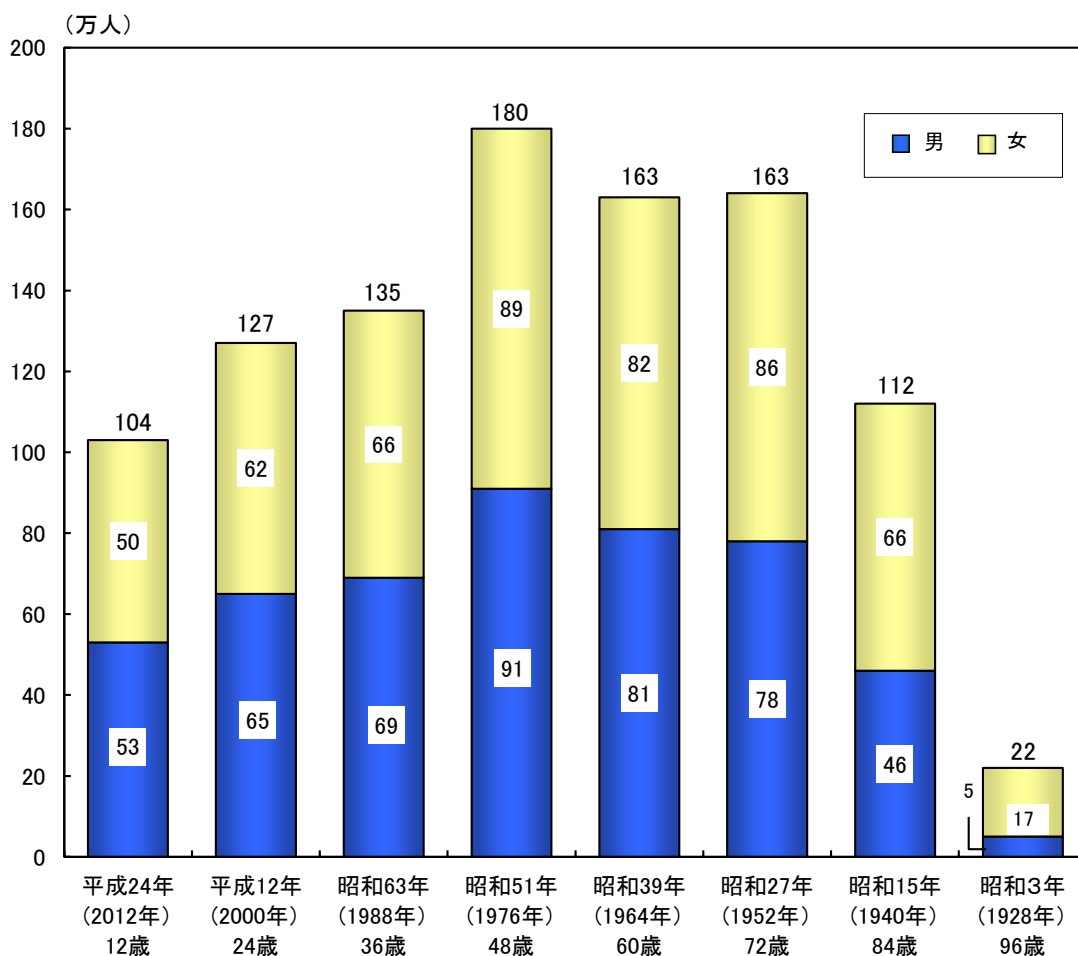


表2 男女、出生年別^{たつ}辰年生まれの人口

生まれた年・年齢			男女計 (万人)	総数に占める割合 (%)	男 (万人)	総数に占める割合 (%)	女 (万人)	総数に占める割合 (%)
総数	—	—	1005	100.0	488	100.0	517	100.0
平成24年 (2012年)	12歳	—	104	10.3	53	10.9	50	9.8
平成12年 (2000年)	24歳	—	127	12.7	65	13.4	62	12.0
昭和63年 (1988年)	36歳	—	135	13.4	69	14.1	66	12.7
昭和51年 (1976年)	48歳	—	180	17.9	91	18.7	89	17.1
昭和39年 (1964年)	60歳	—	163	16.2	81	16.7	82	15.8
昭和27年 (1952年)	72歳	—	163	16.3	78	15.9	86	16.6
昭和15年 (1940年)	84歳	—	112	11.1	46	9.4	66	12.8
昭和3年 (1928年)	96歳	—	22	2.2	5	1.0	17	3.2

* 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
 * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
 * 図及び表中の年齢は、令和6年に誕生日を迎えた時の年齢
 * 十二支別人口は、12月末までのデータにより推計した1月1日現在人口のため、令和6年生まれ^{たつ}の辰年の人は含まれない。

Ⅱ 新成人人口は106万人

新成人人口(平成17年生まれ・18歳)は106万人で6万人減
男性は55万人、女性は52万人

この1年間(令和5年1月～令和5年12月)に、新たに成人に達した人口(令和6年1月1日現在18歳の人口)は106万人で、前年の18歳と比べると6万人の減少となっています。

男女別にみると、男性は55万人、女性は52万人で、男性が女性より3万人多く、女性100人に対する男性の数(人口性比)は105.5となっています。(表3、図3)

新成人人口は過去最低を更新

新成人人口について、この推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベビーブーム(昭和22年～24年)世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人(総人口に占める割合は2.40%)で最も多くなった後、減少に転じ、53年には152万人となりました。その後、昭和50年代後半から再び増加傾向を続け、第2次ベビーブーム(昭和46年～49年)世代の人が成人に達した時に200万人台(最多は平成6年207万人)となった後、平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向を続けています。

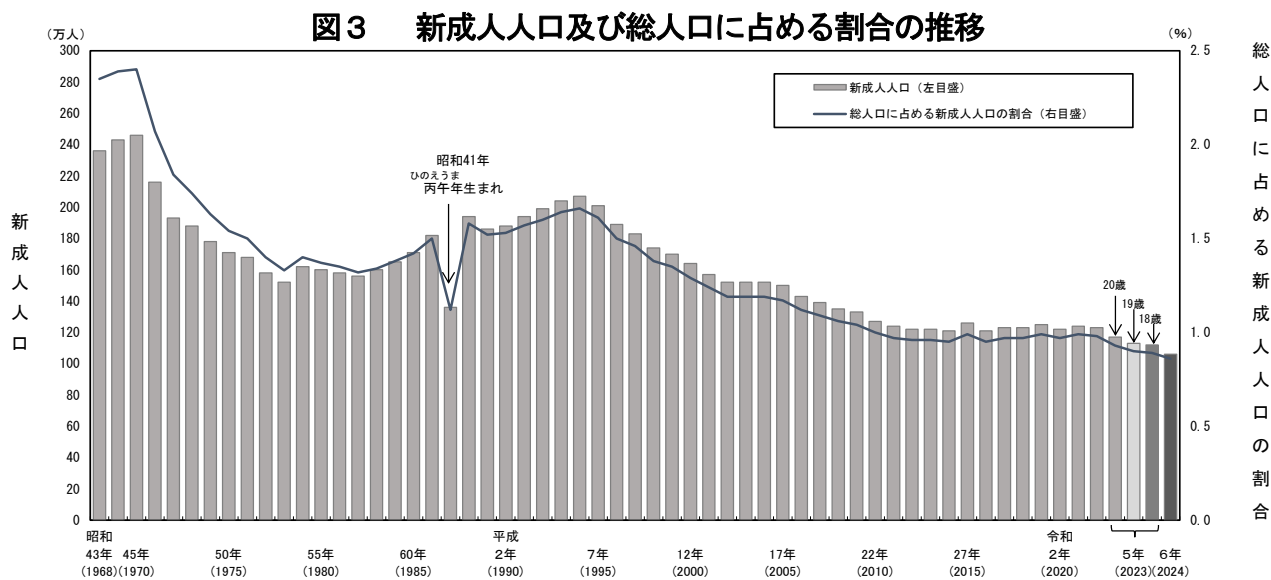
表3 新成人人口の推移

年次(西暦)	新成人人口 (万人)			総人口に 占める 割合(%)	人口性比	年次(西暦)	新成人人口 (万人)			総人口に 占める 割合(%)	人口性比
	男女計	男	女				男女計	男	女		
昭和43年(1968)	236	119	117	2.35	101.6	平成10年(1998)	174	89	85	1.38	105.0
44(1969)	243	123	121	2.39	101.9	11(1999)	170	87	83	1.35	105.2
45(1970)	246	124	123	2.40	101.0	12(2000)	164	84	80	1.29	105.4
46(1971)	216	110	106	2.07	103.9	13(2001)	157	81	77	1.24	105.3
47(1972)	193	98	96	1.84	102.0	14(2002)	152	78	74	1.19	104.7
48(1973)	188	94	94	1.74	100.8	15(2003)	152	77	74	1.19	104.7
49(1974)	178	89	89	1.63	100.6	16(2004)	152	78	74	1.19	104.7
50(1975)	171	87	84	1.54	103.6	17(2005)	150	77	73	1.17	104.9
51(1976)	168	86	83	1.50	103.7	18(2006)	143	73	70	1.12	105.0
52(1977)	158	81	77	1.40	104.5	19(2007)	139	72	67	1.09	106.4
53(1978)	152	77	75	1.33	102.8	20(2008)	135	69	66	1.06	105.2
54(1979)	162	82	80	1.40	103.3	21(2009)	133	68	65	1.04	104.9
55(1980)	160	81	78	1.37	103.9	22(2010)	127	65	62	1.00	104.7
56(1981)	158	81	78	1.35	104.3	23(2011)	124	63	61	0.97	104.2
57(1982)	156	80	76	1.32	104.5	24(2012)	122	62	60	0.96	104.9
58(1983)	160	81	78	1.34	104.2	25(2013)	122	63	59	0.96	105.4
59(1984)	165	84	81	1.38	104.3	26(2014)	121	62	59	0.95	105.1
60(1985)	171	87	83	1.42	104.8	27(2015)	126	65	61	0.99	105.5
61(1986)	182	93	89	1.50	104.2	28(2016)	121	62	59	0.95	105.1
62(1987)	136	70	66	1.12	105.7	29(2017)	123	63	60	0.97	105.8
63(1988)	194	99	95	1.58	103.9	30(2018)	123	63	60	0.97	105.5
64・平成元年(1989)	186	96	91	1.52	105.3	31・令和元年(2019)	125	64	61	0.99	105.5
2(1990)	188	97	92	1.53	105.5	2(2020)	122	63	59	0.97	105.8
3(1991)	194	99	94	1.57	105.4	3(2021)	124	64	60	0.99	105.6
4(1992)	199	101	97	1.60	104.2	4(2022)	123	63	60	0.98	104.4
5(1993)	204	104	99	1.64	105.0	5(2023)	341	175	166	2.73	105.6
6(1994)	207	106	101	1.66	105.0	うち20歳	117	60	57	0.93	105.6
7(1995)	201	103	98	1.61	105.6	うち19歳	113	58	55	0.90	105.8
8(1996)	189	97	92	1.50	105.3	うち18歳	112	57	54	0.89	105.6
9(1997)	183	94	89	1.46	104.7	6(2024)	106	55	52	0.86	105.5

※参考：令和6年の20歳の人口は114万人(男性59万人、女性56万人)

令和6年の新成人人口は106万人、総人口に占める割合は0.86%で、前年の18歳と比べ6万人減少、0.03ポイント低下となり、人口、割合共に過去最低を更新しました。

なお、新成人人口は、令和4年までは20歳、令和5年は18歳、19歳及び20歳、令和6年は18歳を対象としています。(表3、図3)



- * 「人口推計」(各年1月1日現在)
- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- * 昭和47年までは沖縄県を含まない。
- * 新成人人口は、令和4年までは20歳、令和5年は18歳、19歳及び20歳(民法の一部を改正する法律(平成30年法律第59号)の施行に伴う経過措置)、令和6年は18歳を対象としている。

..... **利用と問合せについて**


- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

人口推計

検索

- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi1390.html>
- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。
(例) 「人口推計」(総務省統計局)

【問合せ先】


総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係
〒162-8668 東京都新宿区若松町 19 番 1 号
TEL : 03 (5273) 1009
Eメール : c-suikei@soumu.go.jp